

令和４年度第２回審査会での質問と回答(大江川下流部公有水面埋立て)

	質問、意見の概要	審査会での事務局の回答	事業者の補足説明
1	資料 2 のスナメリの調査について、40 時間実施したとあります。スナメリが海上に現れるタイミングなど、どの 40 時間なのかが大事だと思います。 また、基礎資料調査では、名古屋港内の広い範囲で確認されているということで、これも重要かと思います。この 40 時間の中で確認されなかったから、基礎資料で確認されているという点を看過するのはどうなのか、と思いました。	調査は各四季計 40 時間行っております。 また、既存資料には名古屋港内の広い範囲で確認されているということを踏まえ、委員からいただいた意見と合わせて、名古屋港水族館へのヒアリングも含めて、事業者が対応できる内容等確認し、準備書の「動物」でご審議いただく際に、ご紹介できればと思います。	ヒアリングも含めて対応方法について検討いたします。
2	資料 1 の (3) で、ルート 4 がどうしても必要という事業者の回答ですが、対策として速度抑制等を回答されています。例えば走行時間帯を工夫できないのでしょうか。通学路なので、朝夕の登下校時にトラックの通行をなるべく避けるといった、時間帯の工夫があるのではないかと思います。	時間帯の工夫については事業者を確認します。	トラックの運行計画において、登下校の時間をなるべくさけるように計画するようにいたしますが、計画上難しい場合は、誘導員の配置や徐行の徹底を作業員にしっかりと周知徹底するようにいたします。

		質問、意見の概要	審査会での事務局の回答	事業者の補足説明
3	事業計画	ルート4について、東側からの事業予定地に入るようにしたらどうかという意見があったかと思います。この道路の凹凸の状況を見ると、この東側からのアクセスは、路面の凹凸が大きく、逆に、近隣住民の方に与える環境負荷が大きくなる可能性もあるかと思います。 通学路の安全性という点と、新たなルートの路面の状況を加味し、どちらがいいのか総合的に判断する必要があるかと思いました。	ルート4は、かなり整備されておりますが、東側からのアクセス時に利用する堤防道路は凹凸が大きいこと、また、鉄道が通っており踏切もありますので、渋滞が発生する可能性もあります。また、堤防道路の幅員が5m程度のため、すれ違うのも難しい状況が予測されますので、総合的に判断し、事業者を検討していただくことになるかと思います。 今いただいたご意見も伝えさせていただき、今後の対応方法について事業者を確認します。	該当箇所は東向きの一方通行のため、現時点での案のルートが有力ですが、地元の方々の意見や警察との協議により、総合的に判断させていただきます。
4	大気質（水面の埋立て）	最大値を示す●印は工業地帯で、住宅のエリアではなかったということでしょうか。夏は右岸側、他の季節は左岸側の橋の辺りだったかと思いますが。	夏は事業予定地の北側、他の季節は南西側に最大着地濃度地点が出ております。事業予定地周辺の用途地域は図書93ページに記載されておりますが、南西側は工業地域、北側も工業専用地域か工業地域、住居地域は南東側となっており、住居地域からは外れております。	—
5		工事着工後13～15ヶ月目は、海側では掘削、上流側では左岸側で掘削を行っているのでしょうか。工事工程を示した表がどこかにあったかと思いますが、粉じんが高くなるのは建設機械が多く稼働しているということでしょうか。	工事着工後13～15ヶ月目の作業内容については、図書130ページに記載されております。予測の対象とした作業は、地盤改良、盛土及び河道内仮締切となっており、地表面の作業を行っております。そのため粉じんが発生するということで予測・評価を行っております。	—

		質問、意見の概要	審査会での事務局の回答	事業者の補足説明
6		粉じん対策として、散水やシートを張ることが上げられていましたが、やはりこれらが最善ということでしょうか。	なかなか画期的な対策がないものかと思いますので、散水して湿らせることで粉じん発生を抑制する、土を運ぶ際にはしっかりシートをかけてそこから漏れないようにするというのが一般的な対策かと思います。	環境の保全のための措置に記載した内容を適切に講ずることにより、粉じん飛散防止に努めてまいりたいと考えております。
7	大気質（水面の埋立て）	脱水した水は現地で処理するという説明だったかと思いますが、そこで水が乾燥したら埃も立つ可能性もありますので、脱水された水に汚染物質が含まれていないという担保が欲しいなと思いました。 粉じんについても、有害物質が飛散しないようにということが懸念されるかと思います。	排水自体は最終的に有害物質排水処理施設がありますので、外部に出ていくことはないと思いますが、今ご質問いただきました、排水処理に入る前はどうか、また、その中に有害汚染物質が含まれていたら、付着した土が飛散した際に周辺の環境に及ぼす影響というのを懸念されているのかなと思います。 また、ヘドロ層が露出する計画となっており、ここが乾燥した際には、含まれている物が、粉じんとして飛散する可能性もあります。 これらの対策や周辺への影響をどのように考えているのかについて、事業者を確認します。	脱水した水については、定期的に汚染物質が含まれていないかどうかの調査を行う予定にしております。 また、ヘドロ層の露出につきましては、必要以上に施工範囲を広げず最小限の露出に抑えながらの施工に努めて努めることで、周辺環境に与える影響は小さくなるものと考えております。 エコチューブの資料を次回審査会時にご提示させていただきます。

	質問、意見の概要	審査会での事務局の回答	事業者の補足説明
8	大気質（建設機械の稼働） 粉じんと同様、南西側で最大を示しておりますが、地形の構造が原因なののでしょうか。 下流側と上流側で工事主体が異なるため環境影響が最大となる時期が別々になるというわけではなく、工事全体で最大の時期がいつかという記載内容だったと思いますが、上流側、特に住居近辺で粉じん、NOx、SOxが多いなどの予測は行っていないのでしょうか。	下流側で建設機械が多く稼働する時期に予測評価を行っていることが主な原因と考えております。 下流側と上流側で工事主体が異なることは考慮しておらず、本準備書では工事全体の中で、最大となる時期の予測を行っており、下流側で影響が高くなる時が予測時期の条件として設定されております。 しかし、ご質問いただきました、上流側にある住居近辺ではどうかということで、上流側で建設機械が多く稼働する際にどの程度の影響が予測されるのかということは、懸念される場所ではありますので、事業者に確認します。	建設機械の稼働による予測は、p. 144 図 2-1-12 に示すとおり、工事範囲内に煙源を均等に配置し、一律の排出量を与えています。下流側に最高濃度が出現する理由は、下流側の工事範囲が広く、煙源が集中するためです。 仮に、住居側に煙源が集中した場合、最高濃度出現地点が住居側に移動することが考えられますが、最高濃度が大きく変化することはないと考えますが、住居付近の予測について検討してまいります
9	大気質（工事関係車両の走行） 図書 162 ページの表 2-1-20 の No. 2・4 で、大型車両は 9～17 時のため、通学時間を考えると大丈夫かと思いましたが、17 時では下校時間と重なってしまうかと思えます。 また、小型車両が 2 台、4 台と少ないですが、これはどのような設定でしょうか。	工事作業者の通勤退勤で使用するのではと思われます。ただ、全員がバラバラに乗って来ると負荷がかかりますので、乗り合わせで来る、また、名鉄の駅が近いので公共交通機関を利用することは行うとしても、少ない台数は使う必要があるということで設定されているものと思われます。詳細については事業者に確認します。	トラックの運行計画において、登下校の時間をなるべくさけるように計画するようにいたしますが、計画上難しい場合は、誘導員の配置や徐行の徹底を作業員にしっかりと周知徹底するようにいたします。 また、小型車両は作業員のための車両であり、乗り合わせてくることを想定しております。

	質問、意見の概要	審査会での事務局の回答	事業者の補足説明
10	大気質（工事関係車両の走行） 交通量などのデータが、令和2年度のものを使用していますが、このコロナ禍において、工事など自粛等で影響があったのではないかと思います。今後、事業活動などが活発になっていくことを考えると、データが少し違ってくるのではないのでしょうか。	大気汚染の常時監視の測定結果を見ると、平成30年から令和2年にかけて徐々に減ってきているのは事実かと思います。ただ、バックグラウンド濃度が低くなると、建設機械の稼働に伴う排出量による寄与率は上がってくるので、本事業の影響の割合が大きくなるかと思います。 そのため、各環境保全措置をしっかりと検討し実施する必要がありますので、コロナ禍のデータをバックグラウンドとして予測評価することは、必ずしも事業による影響を小さくするものではないと考えております。	予測地点 No.2 近傍の道路交通センサス調査結果（名古屋半田線加福町等）をみますと、直近10年間の交通量は減少傾向にあります。（資料編 p.78 参照。） H27年度の交通センサス調査結果と現地調査結果を比較しますと、センサス18,836台に対し現況交通量15,898台であり、15%ほど少ない台数ではありますが、直近10年間の減少傾向の延長線上にあるとも言えなくもありませんので、コロナ禍による自粛影響がどの程度のものかは明確ではありません。 今後、事業活動の活発化に伴い交通量が回復する可能性もありますが、一方で、直近10年間の傾向から交通量の減少が続く可能性もあり、予測において現況交通量を将来の背景交通量として設定することは妥当と考えます。

		質問、意見の概要	審査会での事務局の回答	事業者の補足説明
11	大気質・悪臭	ボックスカルバートを埋めるため掘削した時に出てきたヘドロ層を、エコチューブ袋に入れて水分を取り除き、脱水されたものをまた埋め戻すという話だったかと思います。その際に、臭い成分や或いはヘドロ層に水銀が大量に入っていたかと思いますが、これらは水として出てこないのか、誰が出てこないことを保証しているのかというのが不安ですが大丈夫なのでしょうか。	掘削したヘドロ層は一旦エコチューブ袋に入れて仮置きして、水を抜いた後に、またボックスカルバートの横に埋め戻す、つまり、場外に運び出すのではなくて事業予定地の中で埋め戻すというような事業計画になっています。 説明会でも住民の方からご心配の声も上がっており、また、準備書でもエコチューブ袋の性能について特に触れられておりませんので、資料等について事業者を確認します。	脱水した水については、定期的に汚染物質が含まれていないかどうかの調査を行う予定にしております。 エコチューブの資料を次回審査会時にご提示させていただきます。
12	悪臭	現状はヘドロ層が表面に露出していないからアンモニアなどが検出されていないと思います。しかし、ヘドロ層が露出し外気に触れた時が最も影響が大きくなると思いますが、その際の予測はしていないのでしょうか。 そうすると、臭気指数が15とか20に上がってしまうようなことも起こり得るかと思います。	一般的には川や海の下に溜まっているヘドロは、臭いがかなり強いものを想像されるかと思います。このことについては本準備書で記載されておらず、定性的な予測・評価を行っております。 汚染土の状況調査のため、平成29年度にサンプリングをしたとありますので、汚染土の状況やヘドロ層の臭いなどのデータがあるのか事業者を確認します。 開削した際に、風向きによってはある程度の臭いが出てくる可能性はあるかと思いますが、どの程度のものを想定しているのか、また、こういった対策があるのかということについて、事業者を確認します。	ヘドロ層の露出は、ボックスカルバート設置のためアスファルトマットより下層を掘削したときに生じます。 平成29年度のサンプリング時の報告書には、ヘドロ層に臭気があったとの記載がありました。現段階の対策としては、ボックスカルバート設置後に速やかに盛土を行うなど、露出する範囲・時間をできる限り短くなるよう工程計画を検討していきませんが、臭いを完全に封じこめることは難しいと考えます。 工事中の事後調査として、臭いが強くなると予想される夏季に、特定悪臭物質及び臭気指数を測定する計画です。

○メール等でいただいた意見

	質問、意見の概要	審査会での事務局の回答	事業者の補足説明
13	大気質（工事関係車両走行） コロナ禍で社会経済活動が滞っている時期のバックグラウンドデータでよいのかという質問に対して、バックグラウンド値が小さいと本事業の寄与分が大きくなると回答されていました。 寄与分は大きくなるかもしれませんが、環境基準を超えるかどうかの際には、バックグラウンド値の大小が重要ではないでしょうか。	—	コロナ禍による社会経済活動の停滞により、現地調査実施時の交通量は、以前より少なくなっていることが予想されます。 今後、社会経済活動が回復し、背景交通量がどの程度増加するか明らかではありませんが、本事業では、運搬の効率化による台数削減に努めるなどの環境保全措置を適切に講じることにより、工事関係車両の寄与をさらに小さくするよう努めます。
14	大気質・悪臭 汚染土が一時的に雨風にさらされ、水環境へ流出するだけでなく、乾燥した汚染土が大気中へ拡散されるリスクがあるとのことでした。汚染土が露出する時期を明確にし、水、大気そして悪臭については注意深く対応するとともに、連続的な環境モニタリングをする必要があるかと思います。	—	本工事では、大江川の河床に堆積しているヘドロ層を含む底質について、盛土部については約 4m の盛土により封じ込めを行います。非盛土部については、地盤改良の際、ヘドロ層を含む底質が露出する期間が生じますが、地盤改良剤を地中に注入し、汚染土・非汚染土を混合して攪拌する計画であることから、汚染土が長期間、外気に触れるようなことはありません。 工事中の特にヘドロ層を含む底質が露出する時期については、悪臭の確認を行いながら、必要に応じて取れる対策を行う予定です。 雨水を含む工事排水については、有害物質処理施設において適切に処理したうえで大江川に放流する計画としています。 工事中のモニタリングとして悪臭、水質については調査を行う予定ですが、大気質についても検討いたします。